



2020年3月期 第2四半期 決算説明会

2019年11月

寺崎電気産業株式会社

(証券コード：6637)

会社概要

《2019年9月末現在》

社 名	寺崎電気産業株式会社 TERASAKI ELECTRIC CO.,LTD.
本 社 所 在 地	大阪市平野区
代 表 者	代表取締役社長 寺崎 泰造
創 業	1923年(大正12年)
資 本 金	12億3,664万円
従 業 員 数	1,935名(連結) 575名(単体)
事 業 内 容	電気機器器具の製造販売
連 結 子 会 社	国内5社 海外8社
上 場 市 場	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
株 式 状 況	発行済み株式数 13,030,000株 株主数 757名(単元株所有者) 単元株数 100株
決 算 期	3月末日

事業概要

船舶用システム製品

ひとたび出港すれば、自らの装備のみが頼りとなる船舶。その安全航海を担うのが、私たちテラサキの船舶用配電制御技術です。

- 船舶用配電制御システム
- 監視制御システム
- 陸電供給システム
- 船員教育訓練システム



機器(ブレーカ)製品

わが国で最初にブレーカ(配線用遮断器)を独自開発。様々な国際規格の認定取得に取り組み、人命や建物、財産を、危険な電気事故から保護し続けます。

- 低圧遮断器
気中遮断器・配線用遮断器・漏電遮断器
- MCTマルチケーブルランジレット
(ケーブル貫通部総合防災品)



産業用システム製品

ビル用配電制御システムから始まった私たちの技術は、再生可能エネルギーや新エネルギーの分野に貢献します。

- 配電制御システム
- コージェネレーション向け制御システム



メディカルデバイス

創業以来取り組んできた電気電子・制御技術をベースに、開発・設計から製造まで一貫した体制で人々の健康を守ります。

- 医療機器
- 臨床検査機器



エンジニアリング及び ライフサイクルサービス

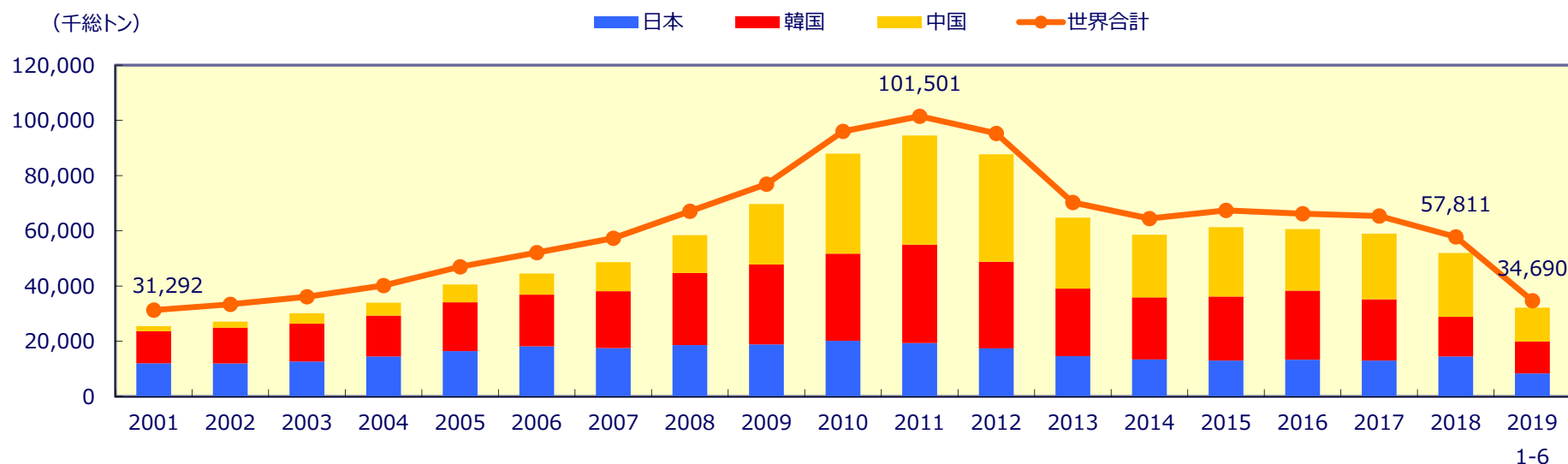
お客様が導入された設備を安全に、永く、安心してお使いいただけるよう、磨き上げられたエンジニアリング技術やマネジメント力で支援します。

- 当社製品の保守・メンテナンスサービス
- 機械設備の設計・構築等の
エンジニアリングサービス
- レトロフィットとライフサイクルサービス
- 船員トレーニング・サービス

世界造船業界の動向（竣工量）

2019年1-6月での「世界の造船竣工量」は
34,690千総トンとなり対前年同期比 3.9%増

日本・・・ 254隻 8,333千総トン（対前年同期比 0.9%増）
 韓国・・・ 134隻 11,571千総トン（対前年同期比 32.4%増）
 中国・・・ 393隻 12,258千総トン（対前年同期比 5.6%減）



《参考》2019年予想（日本18,331千総トン，韓国22,462千総トン，中国29,740千総トン，世界合計 78,053千総トン）
 2020年予想（日本13,637千総トン，韓国20,058千総トン，中国25,102千総トン，世界合計 64,446千総トン）

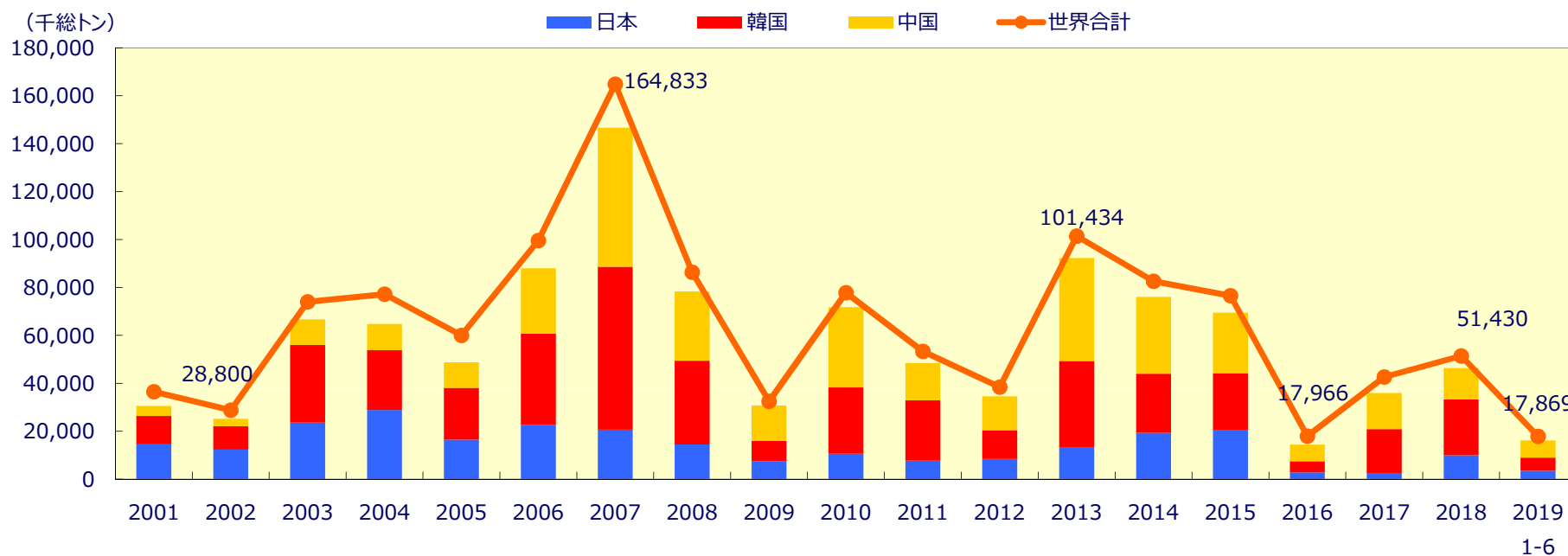
『World Shipbuilding Statistics』データより作成

※2019年6月末時点の手持工事量による

世界造船業界の動向（受注量）

2019年1-6月での「世界の造船受注量」は
17,869千総トンとなり対前年同期比 37.1%減

日本…	109隻	3,515千総トン	（対前年同期比 53.2%減）
韓国…	80隻	5,465千総トン	（対前年同期比 51.1%減）
中国…	186隻	7,182千総トン	（対前年同期比 2.0%減）



『World Shipbuilding Statistics』データより作成

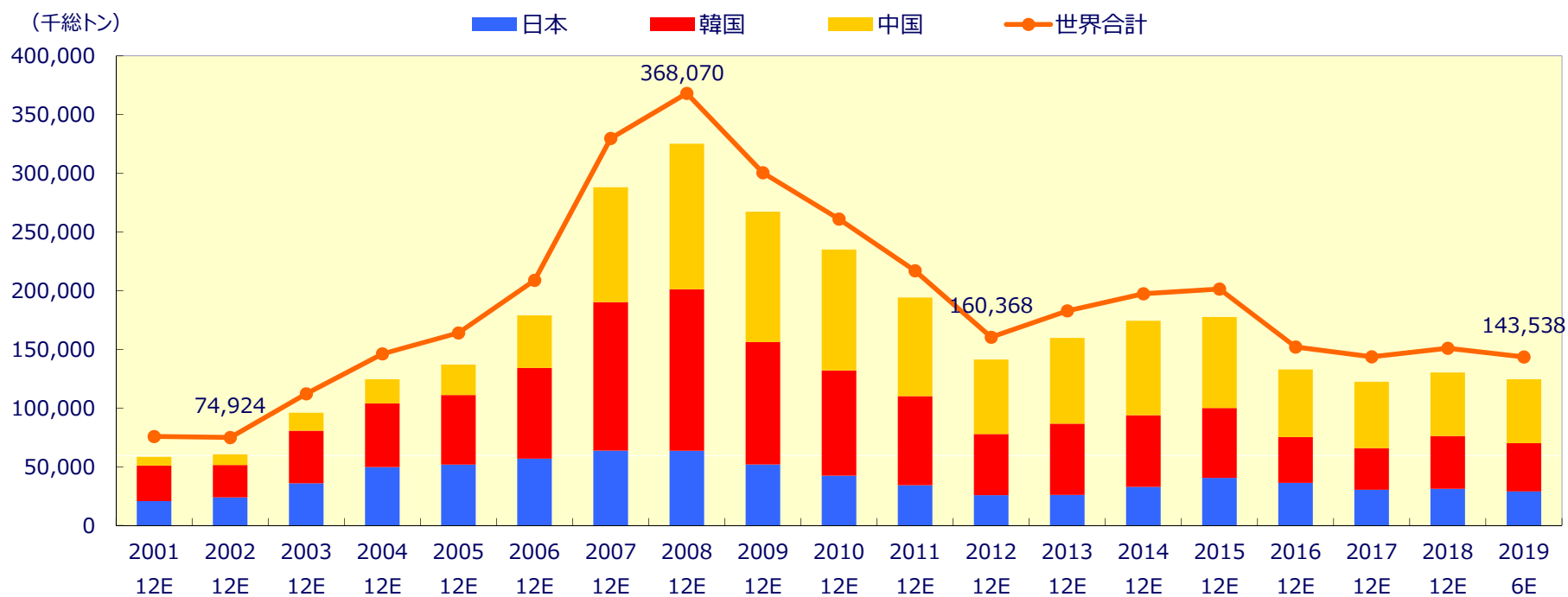
世界造船業界の動向（手持工事量）

2019年6月末における「世界の新造船手持工事量」は
143,538千総トンとなり対前年6月末比 4.5%減

日本・・・ 731隻 28,962千総トン（対前年6月末比 10.2%減）

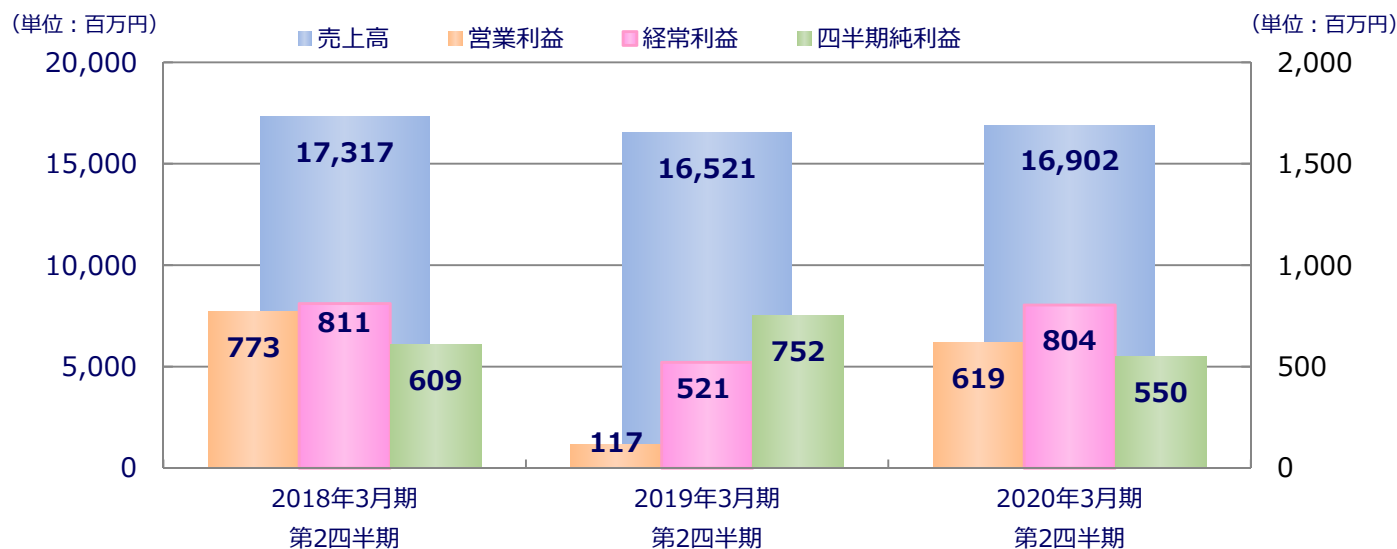
韓国・・・ 443隻 41,120千総トン（対前年6月末比 1.8%増）

中国・・・1,670隻 54,498千総トン（対前年6月末比 4.5%減）



『World Shipbuilding Statistics』データより作成

連結決算概要



(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上高	17,317	16,521	16,902	+2.3%
営業利益	773	117	619	+425.7%
経常利益	811	521	804	+54.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	609	752	550	△26.8%
EPS 1株当たり四半期純利益	46円81銭	57円79銭	42円29銭	
営業利益率	4.5%	0.7%	3.7%	

セグメント別概要 日本

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上高	12,238	10,236	10,253	+0.2%
セグメント利益	672	79	509	+538.0%
売上高比率	70.7%	62.0%	60.7%	

《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	減少	海洋環境規制関連製品が増加するも、陸電供給システム及びLNG船が減少
産業用システム製品	減少	コージェネレーションシステム向け等が減少
メディカルデバイス	増加	医療機器及び臨床検査機器ともに堅調
エンジニアリング及びライフサイクルサービス	増加	海洋環境規制関連工事及び産業向けエンジニアリング案件が堅調に推移
機器製品	ほぼ横ばい	国内向け・・・ほぼ横ばい 海外向け・・・東アジア地域が増加するも、西アジア地域が減少

セグメント別概要 アジア

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上高	3,083	4,214	4,681	+11.1%
セグメント利益	400	389	474	+21.6%
売上高比率	17.8%	25.5%	27.7%	

《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	増加	堅調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	堅調に推移
機器製品	減少	マレーシア国内向けが低調

セグメント別概要 ヨーロッパ

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上高	1,995	2,071	1,966	△5.0%
セグメント利益	99	40	64	+59.3%
売上高比率	11.5%	12.5%	11.6%	

《売上高 前年同期との差異ポイント》

機器製品	減少	英国内は若干増加、西欧州及び中近東地域も堅調に推移するも、為替の影響により減少
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	ほぼ 横ばい	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期	増減
資産の部			
流動資産	32,570	31,873	△697
固定資産	12,179	12,331	+152
資産合計	44,749	44,204	△545
負債の部			
流動負債	12,546	12,456	△90
固定負債	2,131	2,319	+187
負債合計	14,678	14,775	+97
純資産の部			
株主資本	29,427	29,795	+368
その他の包括利益累計額	607	△402	△1,009
非支配株主持分	37	35	△1
純資産合計	30,071	29,429	△642
負債・純資産合計	44,749	44,204	△545

主な増減

《流動資産》

受取手形及び売掛金 △1,625

たな卸資産 +744

《固定資産》

有形固定資産 +350

投資有価証券 △120

《流動負債》

支払手形及び買掛金 +433

電子記録債務 △351

1年内返済予定の長期借入金 △108

未払法人税等 △131

その他流動負債

《固定負債》

長期借入金 △221

その他固定負債 +485

《その他の包括利益累計額》

為替換算調整勘定 △836

主要連結財務指標の推移

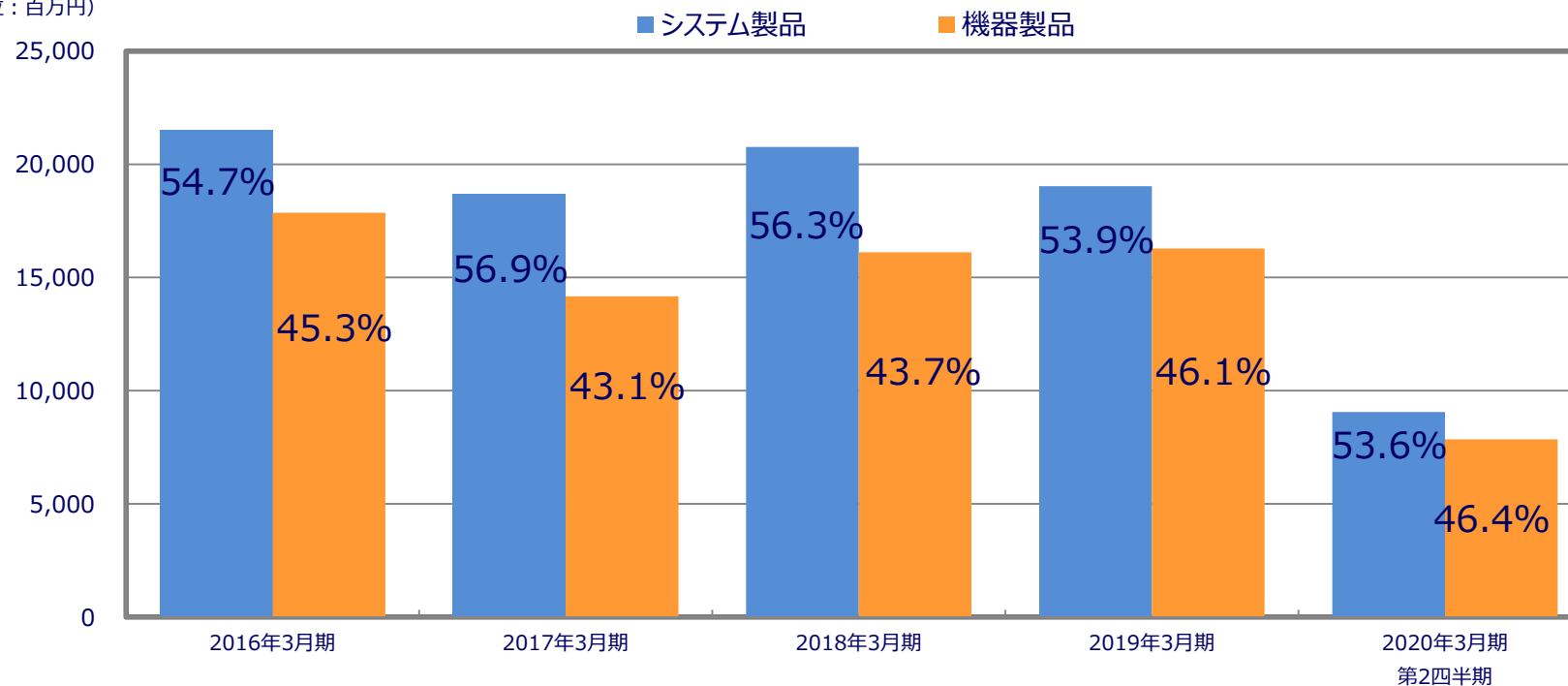
経営目標：自己資本比率55%以上

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期
EPS 1株当たり当期純利益	円 銭 201.27	円 銭 131.93	円 銭 110.67	円 銭 100.36	円 銭 ※ 123.57
BPS 1株当たり純資産	円 銭 2,096.30	円 銭 2,128.65	円 銭 2,261.78	円 銭 2,305.18	円 銭 2,255.99
自己資本比率	% 60.2	% 60.4	% 63.3	% 67.1	% 66.5
ROE 自己資本利益率	% 9.8	% 6.2	% 5.0	% 4.4	% ※ 5.3
有利子負債	百万円 4,913	百万円 4,862	百万円 4,169	百万円 3,339	百万円 3,010
D/Eレシオ	% 18.0	% 17.6	% 14.2	% 11.2	% 10.2

※ 2020年3月期第2四半期のEPS及びROEは、2020年3月期末予想値です。

製品別 連結売上高比率

(単位：百万円)

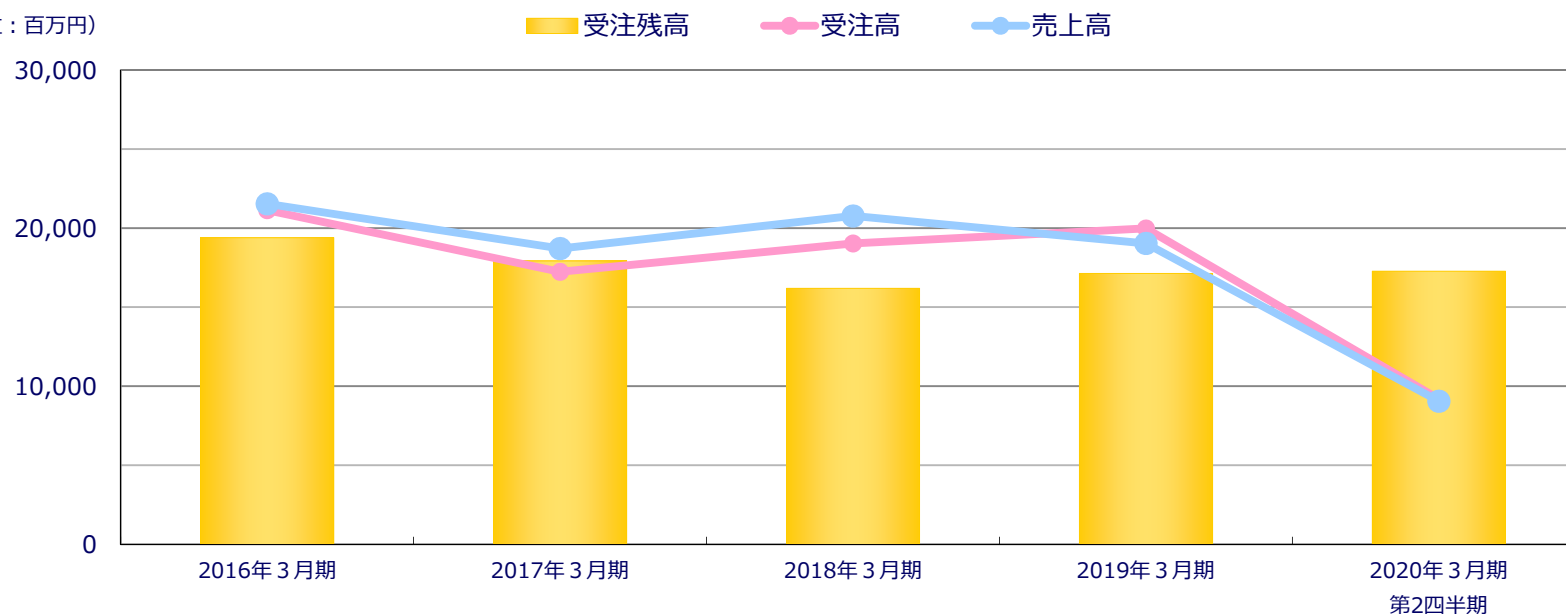


(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
システム製品	21,536	18,706	20,767	19,032	8,483	9,053	+6.7%
機器製品	17,863	14,167	16,112	16,278	8,038	7,849	△2.4%

システム製品 連結売上高・受注高・受注残高

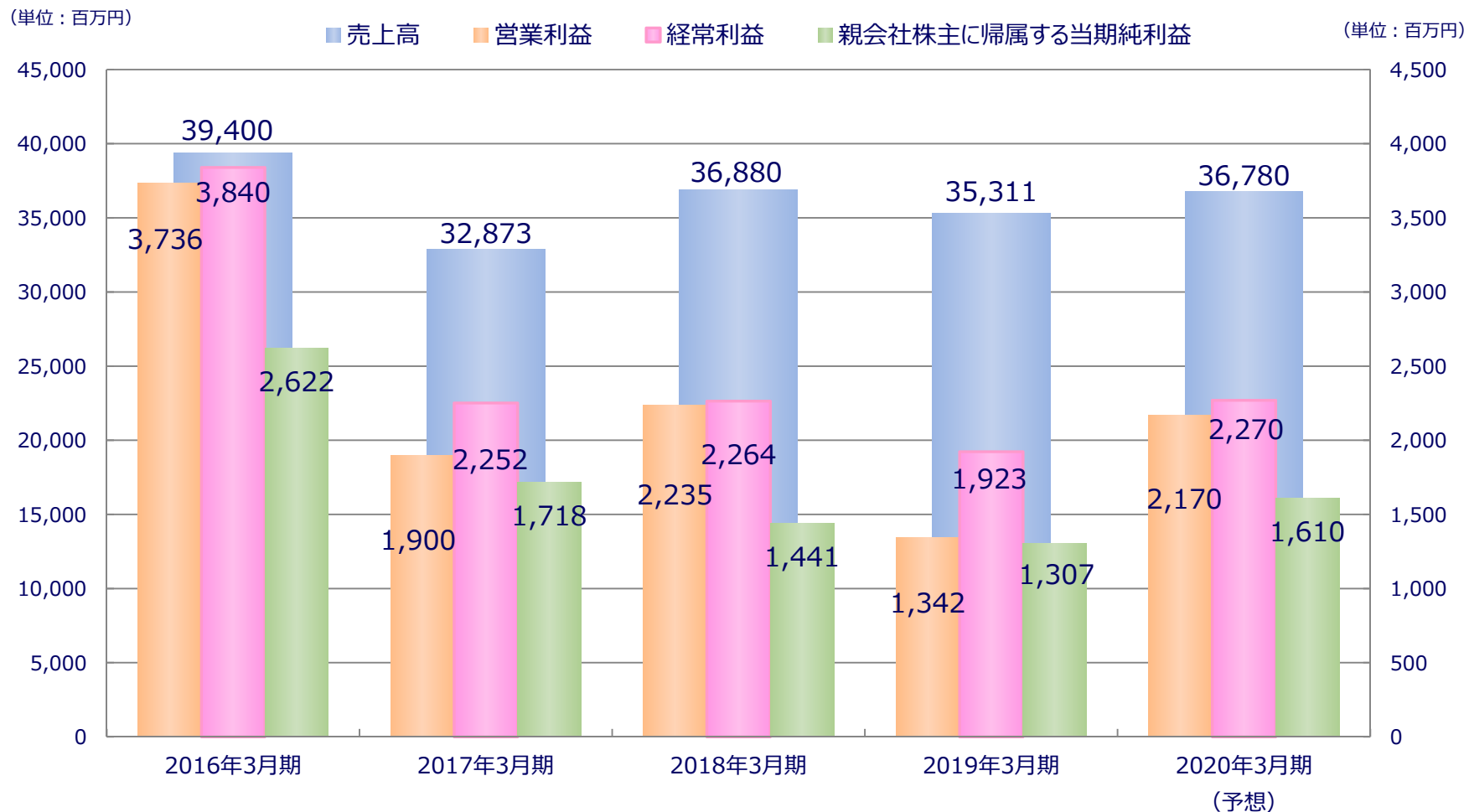
(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期
受注残高	19,396	17,927	16,190	17,139	18,165	17,273
受注高	21,132	17,236	19,030	19,982	10,458	9,186
売上高	21,536	18,706	20,767	19,032	8,483	9,053

2020年3月期 連結業績予想



2020年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

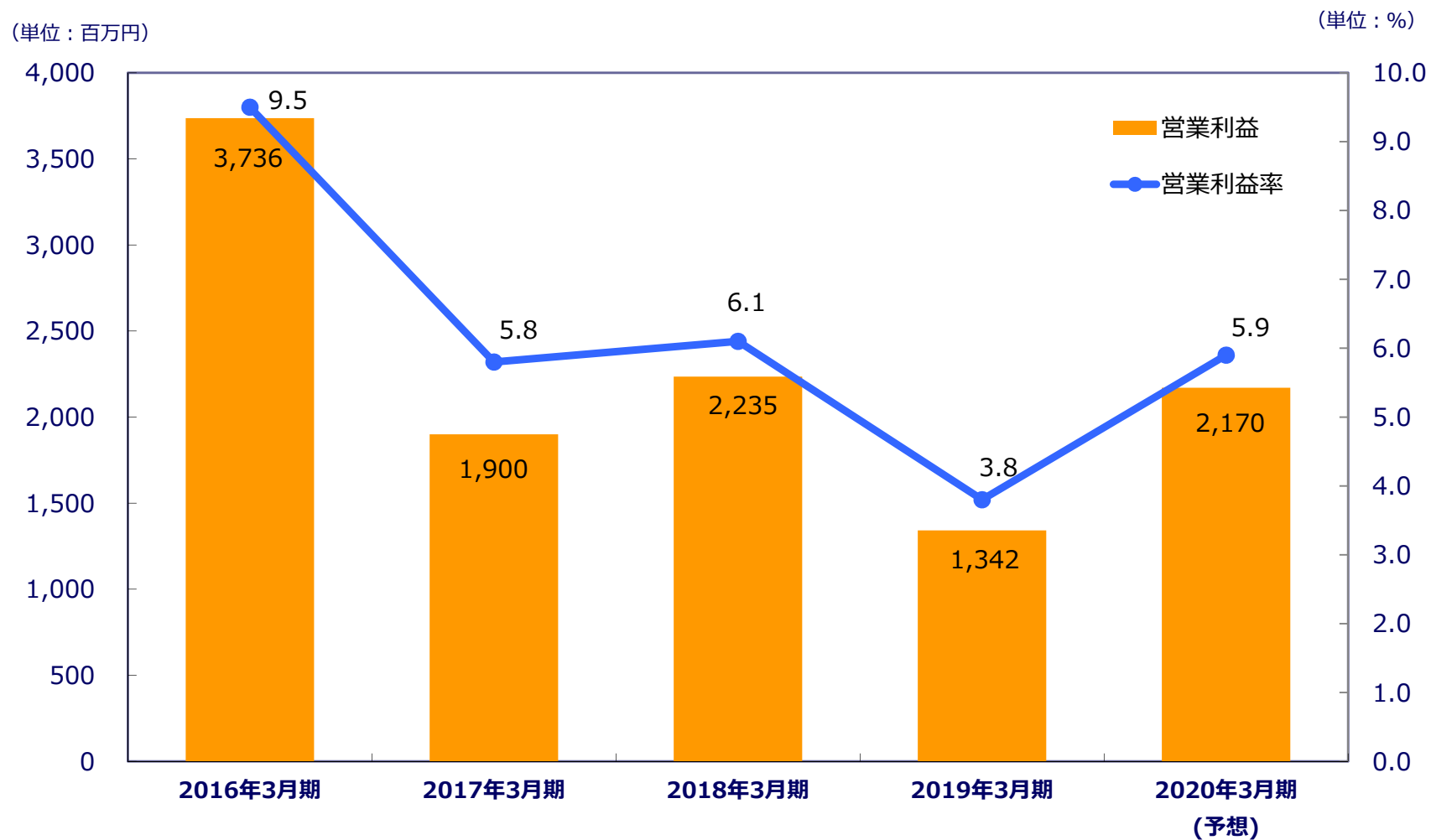
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 (5/15予想)	対前期 増減率
売上高	39,400	32,873	36,880	35,311	36,780	+4.2%
営業利益	3,736	1,900	2,235	1,342	2,170	+61.6%
経常利益	3,840	2,252	2,264	1,923	2,270	+18.0%
親会社株主に帰 属する当期純利益	2,622	1,718	1,441	1,307	1,610	+23.1%
EPS 1株当たり当期純利益	円 銭 201.27	円 銭 131.93	円 銭 110.67	円 銭 100.36	円 銭 123.57	
1株当たり 配当金	円 銭 12.00	円 銭 14.00	円 銭 14.00	円 銭 14.00	円 銭 16.00	
営業利益率	9.5%	5.8%	6.1%	3.8%	5.9%	

業績予想の前提： 下期為替レート(TTM) 1US\$: 105.00円
 1EURO : 125.00円
 1ST £ : 135.00円
 1A\$: 75.00円

設備投資 : 1,100百万円
 減価償却費 : 1,150百万円
 研究開発費 : 1,040百万円

2020年3月期 連結業績予想

経営目標：売上高営業利益率5%以上



業績予想の主な要因及び対策

日本

● 船舶用システム製品

本格的な回復には時間を要する中、L N G 船は減少するものの、コンテナ船及び海洋環境規制関連製品等の売上が増加することにより、全体の売上は増加する見通し。

- － 高付加価値船(L N G 船、コンテナ船等)向け配電制御システムの受注強化による売上と利益の確保
- － 最適エネルギーマネジメントシステム、陸電供給システム、Soxスクラバー制御装置、バラスト水処理制御装置等の環境・省エネ・安全対応ビジネスの拡大により、1 隻あたりの当社貢献度を高める
- － 生産性の向上とコストダウン
- － 船員教育市場向けシミュレーターの受注及び船員教育トレーニング・ビジネスの推進

業績予想の主な要因及び対策

日本

● 産業用システム製品

国内プラント向け及び海外プラント向けの減少により、売上は減少する見通し。

- 国内外の鉄道関連とプラント案件への受注強化
- 国内・海外プラント関連顧客数の増大と受注の拡大
- コージェネレーションシステムをはじめとする分散型電源市場、電力市場、環境市場への営業強化

● 機器製品

東アジア地域が堅調に推移するものの、国内船用市場向け及び西アジア地域が減少することにより、売上は若干減少する見通し。

- 積極的な営業展開による受注拡大
- 新エネルギー関連市場への営業強化
- 中国船舶市場、新興国インフラ市場への営業強化及びO E Mパートナーの拡大
- グループ全体での物流改善による顧客ニーズ対応とコスト削減
- 次世代製品の開発に注力

業績予想の主要因及び対策

日本

● メディカルデバイス

医療機器、臨床検査機器とも堅調に推移する見通し。

- 医療業界のニーズに合った新製品の開発
- グループ連携による新規顧客の獲得とマーケティング活動の強化

● エンジニアリング 及び ライフサイクル

海洋環境規制関連が堅調に推移し、売上は増加する見通し。

- Terasaki Global Service Network(TGSN)の拡充と新サービスの提案
- ライフサイクルビジネスの拡大をテラサキグループ全体で推進
- 陸電供給システム、バラスト水処理装置及びSOx規制対応に対するエンジニアリングビジネスの受注拡大
- レトロフィットビジネスの拡大
- 産業用エンジニアリング事業の強化
- 船員トレーニング・サービスの確立

業績予想の主な要因及び対策

アジア

● 船舶用システム製品

売上は増加する見通し。

- － 営業力強化による中国市場でのシェアの維持・拡大
- － 陸電供給システム等の環境・省エネ・安全対応ビジネスの拡大により、1隻あたりの当社貢献度を高める
- － 高付加価値船向け製品の営業力と生産対応力の強化
- － エンジニアリング及びライフサイクルビジネスの受注拡大

● 機器製品

マレーシア国内向けが減少し、売上は若干減少する見通し。

- － 中国、韓国並びに東南アジアにおける営業力強化によるシェア向上
- － 舶用市場とインフラ関連市場への営業強化

業績予想の主要因及び対策

アジア

● 産業用システム製品

- シンガポールと中国を拠点にインフラ投資案件への営業強化
- 高付加価値製品に対する生産対応力の強化
- 日系企業に対する営業強化

● エンジニアリング 及び ライフサイクル

- Terasaki Global Service Network(TGSN)の拡充と新サービスの提案
(シンガポール、中国、ドバイの拠点の更なる拡充)
- ライフサイクルビジネスの拡大をテラサキグループ全体で推進
- 陸電供給システム、バラスト水処理装置及びSOx規制対応に対する
エンジニアリングビジネスの受注拡大
- レトロフィットビジネスの拡大

業績予想の主な要因及び対策

ヨーロッパ

● 機器製品

英国内は E U 離脱に向けた先行き不透明感があるものの、西欧州及び中近東向けが堅調に推移し、売上は若干増加する見通し。

- 中近東、アフリカ及び中南米市場等のシェア拡大
- O E M 販売先との協力関係強化による顧客数の拡大
- ロジスティクス改革の推進によるお客様満足度の向上と物流コストの削減

● エンジニアリング 及び ライフサイクル

- アフターサービスの強化
(欧州・中近東・南米におけるTerasaki Global Service Networkの強化)
- ライフサイクル及びレトロフィットビジネスの拡大



本資料お取扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。